F Mouthrinse 0.1%

［医療用医薬品］

フッ化ナトリウム 洗口液0.1%「ジーシー」250mL

う蝕予防フッ化物洗口液

日本標準商品分類番号
87279

薬価基準対象外

う蝕の予防に

フッ素濃度450ppm※ 洗口液

毎日のう蝕予防の習慣化に適したフッ素濃度450ppm（※原液）。

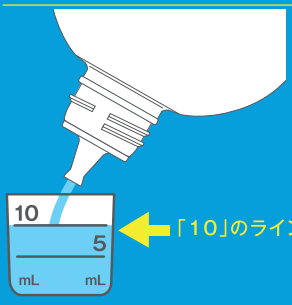
包装●1函:6本入［250mLボトル（計量カップ付）×6本］

承認番号　22400AMX00015000

●使用方法

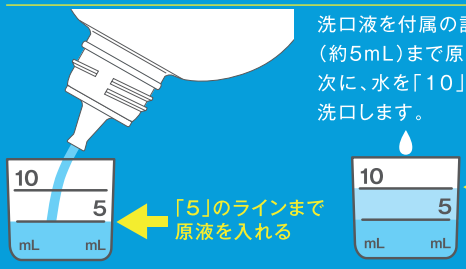
安全にお使いいただくために、患者さんの洗口に合わせた計量・希釈方法をお示しください。
未就学児には、2倍希釈をして225ppmの使用をおすすめします。

原液で10mL使用する場合



洗口液を付属の計量カップの「10」のライン（約10mL）まで入れて洗口します。

2倍に希釈して10mL使用する場合



洗口液を付属の計量カップの「5」のライン（約5mL）まで原液を入れます。
次に、水を「10」のラインまで入れて希釈し、洗口します。

小児にお使いいただく場合は、ブクブクうがいができるように**水で練習**してからお使いください。※開始年齢の目安は4歳前後になります。

「う蝕予防のためのフッ化物洗口実施マニュアル」フッ化物応用研究会編、（株）社会保険研究所（H15年3月）

●洗口方法

洗口は1日1回食後又は就寝前に行う。

①洗口前に、歯を磨くか水で口をすすぐ。
②準備した洗口液を口に含み、約30秒間洗口液が歯面に行き渡るようにブクブクうがいをする。
・誤って飲み込まないように、うつむき加減でブクブクうがいをする。
・洗口液は、一度で口に含むように指導する。含みきれずに計量カップに残った液は捨てる（先に口に含んだ洗口液を誤って飲み込まないため）。
③洗口後は、口腔内の液を十分に吐き出す。吐き出し後は口を水ですすがず、1～2回たまった唾液を吐き出す。

ruscello

組　成

有効成分　（1mL中）フッ化ナトリウム……1.0mg
添加物　リン酸、プロピレングリコール、サッカリンナトリウム水和物、dl-メントール、セチルピリジニウム塩化物水和物、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸プロピル、香料

製剤の性状

本品は無色澄明の液で、わずかに芳香があり、味はわずかに甘い。

効能・効果

齲蝕の予防

用法・用量

通常、1回フッ化ナトリウムとして0.05～0.1%溶液5～10mLを用い、1日1回食後または就寝前に次の方法により洗口する。
［洗口方法］
薬液を口に含み、約30秒間薬液が十分歯面にゆきわたるように含み洗いさせる。次に薬液を十分に吐き出させる。1回に口に含む液量は、年齢等による口腔の大きさを考慮して定めるが、通常未就学児で5mL、学童以上で7～10mLが適当である。

使用上の注意

1. 副作用
本品は、使用成績調査等の副作用の発現頻度が明確となる調査を実施していない。
過敏症（頻度不明）：過敏症状があらわれた場合には、ただちに洗口を中止すること。
2. 適用上の注意
① 齲蝕の予防（洗口）にのみ使用すること。
② 飲み込まないよう、よく指導すること。
③ 飲み込む恐れのある幼児には使用しないこと。
④ 誤って飲用し、嘔吐、腹痛、下痢などの急性中毒症状を起こした場合には、牛乳、グルコン酸カルシウムなどのカルシウム剤を応急的に服用させ、医師の診療を受けさせること。
⑤ 歯科医師の指導により使用すること。

薬効薬理

本剤のような低濃度のフッ化物イオンは、歯のエナメル質の構成成分であるハイドロキシアパタイトに作用してフルオロアパタイトを形成し、酸に対する溶解度を低下させることに加えて、歯の表面や結晶周囲に吸着して被覆し、酸が歯質を侵襲するのを防いだり（脱灰抑制）、脱灰で歯質から失われたカルシウムイオンやリン酸イオンの回復を促進すること（再石灰化促進）で齲蝕を予防する[1]。

有効成分に関する理化学的知見

一般名：フッ化ナトリウム
化学名：Sodium Fluoride
分子式：NaF
分子量：41.99
性 状：白色の結晶性の粉末で、においはない。水にやや溶けやすい。

取扱い上の注意

・容器及び使用する器具は必ずプラスチック製を使用し、ガラス製品は使用しないこと。
・希釈して使用する場合は、その都度希釈し、作り置きしないこと。
・使用後は密栓し、幼少児の手の届かない所に保管すること。
・使用後はしっかりキャップを閉め、直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
・誤用の原因になったり、品質が変わることがあるため、他の容器に入れ替えないこと。

包　装

250mL（プラスチックボトル）×6本

主要文献

1) フッ化物応用の科学、一般社団法人 日本口腔衛生学会
フッ化物応用委員会編、p22ー29、口腔保健協会（2010年）

小児から高齢者まで1日1回30秒のフッ化物洗口でう蝕予防の習慣化。

*未就学児には、2倍希釈をして225ppmの使用をおすすめします。

症状		目的	フッ化ナトリウム 洗口液0.1%「ジーシー」
健康な歯肉		う蝕予防	◎
		歯周病予防	
歯肉炎		進行抑制・改善	
辺縁性歯周炎	軽度	進行抑制	
	中等度		
	重度		
歯肉退縮		進行抑制・歯根面外傷予防	
外科処置後		患部周辺の清掃	
歯周病治療後のメインテナンス		歯周病予防	
		根面う蝕予防	◎
永久歯萌出途中の歯肉		う蝕予防	◎
		歯肉炎	

年齢に合わせて処方

付属の計量カップを使って子ども用／大人用など年齢や口腔内の状態にあわせてご使用できます。

室温保存が可能

室温で保存できるので、歯ブラシや歯磨剤などと一緒に保管でき、毎日のう蝕予防に最適です。

さっぱりした青りんごのフレーバー

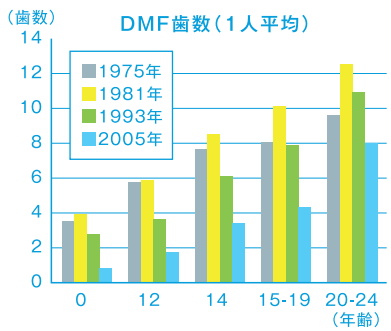
苦みがなく後味が良いので、患者さんに毎日お使いいただけるフレーバーです。

子どもから大人まで親しめるボトルデザイン

歯の形を表現したかわいらしく、シンプルなボトル形状。どなたでも親しみを持てるデザインになっています。

幼児から青年期にかけてのう蝕予防

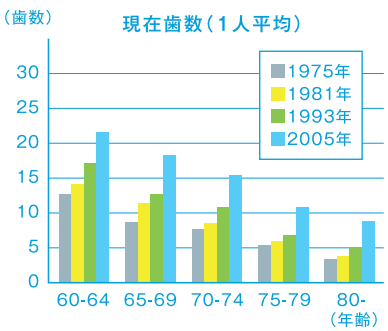
12歳児のDMF歯数は、1981年をピークに年々減少していますが、20歳以上のDMF歯数は依然高い値を示し、う蝕が大きく影響していることが分かります。フッ化物洗口は、幼児の萌出したての脆弱永久歯や、ブラッシングが隅々まで十分に出来ず青年期から増えはじめる隣接面のう蝕などの予防に有効な手段のひとつです。



厚生労働省：歯科疾患実態調査改編

根面う蝕予防にフッ化物洗口

65歳以上の方の残存歯は、この30年の間に2倍以上となり、残存歯における根面う蝕のリスクは大きく増加しています。このように象牙質が口腔内に露出してしまう場合などには、手軽に根面う蝕予防が行えるフッ化物洗口が有効な手段のひとつになります。



厚生労働省：歯科疾患実態調査改編

※掲載のデータは、2026年6月現在のものです。
※色調は印刷のため、現品と若干異なることがあります。

ご使用に際しては、必ず製品の電子添文、使用説明書をお読みください。

発売元 株式会社 ジーシー ／ 製造販売元 株式会社 ジーシー
東京都文京区本郷3丁目2番14号　東京都板橋区蓮沼町76番1号

カスタマーサービスセンター
お客様窓口 0120-416480
受付時間9:00a.m.～5:00p.m.（土曜日、日曜日、祝日を除く）
https://www.gc.dental/japan/

支　店
●東　京（03）3813-5751 ●大　阪（06）4790-7333
営業所
●北海道（011）729-2130 ●名古屋（052）757-5722
●東　北（022）785-8040 ●九　州（092）441-1286

PA077X2606